



新じゃがの収穫 三芳光陽園

第19号

各施設ホームページには、法人ホームページからアクセスしてください。

<http://www.k3.dion.ne.jp/~hakukou/>

各施設のホームページにメールボックスがあります。ご意見、ご感想をお寄せください。

平成21年7月20日

社会福祉法人 薄光会 広報委員会発行

本部、太陽のしずく

ケアホームCOCO : 〒299-1607 千葉県富津市湊 1070-3

TEL 0439-67-3711

豊岡光生園 : 〒299-1742 千葉県富津市豊岡 3535-1

0439-68-1711

三芳光陽園 : 〒294-0825 千葉県南房総市上堀 280

0470-36-3211

鴨川ひかり学園 : 〒299-2854 千葉県鴨川市代 1297

04-7099-3311

湊ひかり学園 : 〒299-1607 千葉県富津市湊 934-18

0439-70-6551

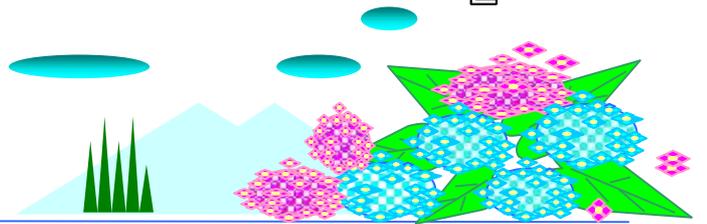


『目指すべきもの 今すべきこと』

現在もなお、混乱が続いている
障害者自立支援法は、平成十八年
四月一日に一部施行、同年十月一
日から本格実施されたが、その頃、
豊岡光生園には、この新法への対
応よりも大きな問題が生じていた。

昭和五十五年七月に開園し、早
二十九周年を迎えようとしている
豊岡光生園の建物・設備はかなり
老朽化し、悲鳴をあげていることから、懸案の「改
築・改造計画」も急浮上してきたのだ。このことは、
もちろん、一年や二年で簡単に成し遂げられるよう
なしろものではないことは誰の目にも明らかだ。

整理すると、障害者自立支援法が施行された当
時、豊岡光生園が進むべき道の先には、「大きなタ
メージを被らない新法への対応・移行問題の克服」
という越えなければならぬ峠があり、そのことを
当面の旗印として掲げたが、その問題の先に「改
築・改造」という大きな山が行く手をふさぐように
そびえていたので、新たにもう一つの旗が掲げら
れ、活き長く、はためき始めたということである。
三年余の時をかけて、法人でプロジェクトチーム
を作り、今年四月、移行への険しい道のりを乗り切
った豊岡光生園は、新制度へ移行した。



次に目指すべきものは「改築・改造」という大
きな課題である。もちろん、新法への移行の形が、
改築・改造計画を睨んでのものであり、その意味
では、改築・改造計画はもう既にスタートし、着々
と進められていると言っても良いだろう。私たち
は常に、利用者のよりよい将来を模索し続けるの
である。ここでは、移行仕立ての豊岡光生園の様
子を紹介したい。

平成二十一年四月一日、豊岡光生園は知的障害
者入所更生施設から「障害者支援施設」に生まれ
変わった。事業は「施設入所支援事業」「生活介
護事業」「短期入所事業」「日中一時支援事業」「障
害児等療育支援事業」の五事業。

三月末までは、六十名の利用者が、基本的に二
十四時間三百六十五日生活されていたが、この四
月から四十名の「住まいの場」となった。利用者
の皆さんの支援をさせていただく者として、この
移行に伴い沢山の想いがあり、その想いに後押し
されて、少しずつ利用者の皆さ
んと共に築きあげていきたいと
考えている。特に、単なる「入
所施設のままではない」とい
う想いは強く、「施設に入って
いる（入所している）」のではな
く、「豊岡のちよいと大きなアパートに住む住民」
「豊岡の地でのびのびと生活している住民」に利
用者の皆さんにはなっていたきたいと考えて
いる。



それには、「起床→朝食→活動→昼食→活動→

入浴→夕食→余暇の時間→消灯」という、事業所
によって決められ、もしかしたら事業所の都合に
合わせるような生活である従来型の「施設の支援」
を壊し、「思い思いの生活」「個別支援」の形に転
換していかねければならないと思う。現場におい
て、「把握」という表現やそれが意味する「職員主
導（職員業務主体）」の動きや考え方や意識を改め、
「見守り」という「利用者主体」の考えや意識を
徹底すること。つまり、「利用者の主体的な意思と
行動を尊重し、「待つこと」などが極めて重要なホ
イントであり、肝に銘ずべきところである。

さて、利用者の皆さんはこの新
体系に移行した新生活をどのよう
うに受け入れてくれているかとい
うと、職員とは比べものにならな
い程、柔軟に移行を受け入れてい
る。大幅な居室の変更や新たな日中活動の展開等、
戸惑いあたふたしているのは支援にあたる側の職
員の方で、利用者の対応力、確かな生活力、懐の
深さに驚かされている。



今、園内を3つのユニット（地区）に分けて、
それぞれ上郷、下郷、華郷と地元豊岡の地域名に
ちなんで名づけさせてもらった。

移行を成し遂げた豊岡光生園の次に目指すべき
ものは間違いなく改築・改造問題であるが、まず
は、利用者の新しい生活の可能性を広げていくこ
とが最優先であると思いを新たにしている。

変わらず守っていくべきものはしっかりと守って
いきながら…

〔平成20年度決算公開〕

貸借対照表

平成 21年 3月 31日現在

資産の部				負債の部			
科目	当年度	前年度	増減	科目	当年度	前年度	増減
流動資産	302,628,667	270,675,548	31,953,119	流動負債	18,014,718	12,823,051	5,191,667
現金預金	175,120,073	144,921,605	30,198,468	短期運営資金借入金	0	0	0
有価証券	0	0	0	未払金	14,824,387	12,181,967	2,642,420
未収金	127,128,380	125,396,025	1,732,355	預り金	3,190,331	641,084	2,549,247
貯蔵品	0	0	0	前受金	0	0	0
立替金	380,214	357,918	22,296	仮受金	0	0	0
前払金	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
短期貸付金	0	0	0	固定負債	111,040,000	125,050,000	-14,010,000
仮払金	0	0	0	設備資金借入金	111,040,000	125,050,000	-14,010,000
その他の流動資産	0	0	0	長期運営資金借入金	0	0	0
固定資産	1,036,669,449	1,047,591,643	-10,922,194	長期預り金	0	0	0
基本財産	876,133,371	870,196,575	5,936,796	退職給与引当金	0	0	0
建物	666,926,187	660,989,391	5,936,796	長期特定引当金	0	0	0
土地	208,207,184	208,207,184	0	負債の部合計	129,054,718	137,873,051	-8,818,333
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000	0	純資産の部			
その他の固定資産	160,536,078	177,395,068	-16,858,990	基本金	505,105,865	505,105,865	0
建物	2,780,020	21,684,275	-18,904,255	基本金	505,105,865	505,105,865	0
構築物	12,487,981	10,099,790	2,388,191	国庫補助金等特別積立金	341,655,934	353,637,082	-11,981,148
機械及び装置	3,653,192	4,799,768	-1,146,576	国庫補助金等特別積立金整備時	341,655,934	353,637,082	-11,981,148
車両運搬具	19,666,090	14,327,428	5,338,662	国庫補助金等特別積立金償還補助	0	0	0
器具及び備品	17,925,539	20,016,464	-2,090,925	その他の積立金	102,284,172	105,398,456	-3,114,284
土地	0	0	0	移行時特別積立金	3,747,562	3,747,562	0
建設仮勘定	0	0	0	人件費積立金	11,500,000	11,500,000	0
権利	0	0	0	修繕費積立金	25,200,000	20,512,000	4,688,000
投資有価証券	30,000	30,000	0	備品等購入積立金	19,830,000	15,830,000	4,000,000
長期貸付金	0	0	0	施設整備等積立金	42,006,610	53,808,894	-11,802,284
移行時特別積立預金	3,747,562	3,747,562	0	次期繰越活動収支差額	261,197,427	216,252,737	44,944,690
移行時減価償却特別積立預金	0	0	0	次期繰越活動収支差額	261,197,427	216,252,737	44,944,690
人件費積立預金	11,500,000	11,500,000	0	(うち当期活動収支差額)	41,830,406	48,313,256	-6,482,850
修繕費積立預金	25,200,000	20,512,000	4,688,000	純資産の部合計	1,210,243,398	1,180,394,140	29,849,258
備品等購入積立預金	19,830,000	15,830,000	4,000,000	負債及び純資産の部合計	1,339,298,116	1,318,267,191	21,030,925
施設整備等積立預金	42,006,610	53,808,894	-11,802,284				
その他の固定資産	1,709,084	1,038,887	670,197				
資産の部合計	1,339,298,116	1,318,267,191	21,030,925				

1 減価償却累計額 1,001,994,308円

2 徴収不能引当金の額 0円

資金収支決算内訳表

自平成20年4月1日～至平成21年3月 31日

勘定科目	薄光会全体	法人本部	豊岡光生園	三光光陽園	三光光陽園 通所介護	三光光陽園 居宅介護	鴨川ひかり	湊ひかり	デイ 湊ひかり	児童デイ 湊ひかり	ケアホーム COCO
経常活動による収支											
収入											
介護保険収入	291,663,663	0	0	240,456,743	44,179,920	7,027,000	0	0	0	0	0
自立支援費等収入	435,484,466	0	257,119,180	0	0	0	66,507,200	66,271,336	0	19,656,670	25,930,080
経常経費補助金収入	9,223,060	0	4,883,380	0	0	0	4,189,680	150,000	0	0	0
寄附金収入	9,247,130	5,471,000	1,358,700	1,149,000	0	0	246,000	702,830	288,600	28,000	3,000
雑収入	9,591,985	2,544	4,886,786	1,674,427	398,650	50,200	936,206	855,472	283,070	223,340	281,290
借入金利息補助金収入	1,197,017	0	0	140,000	0	0	575,217	481,800	0	0	0
受取利息配当金収入	38,048	3,989	0	23,968	0	0	0	0	10,091	0	0
経理区分間繰入金収入	36,293,500	17,000,000	13,293,500	0	3,000,000	0	0	1,000,000	0	0	2,000,000
補助事業等収入	54,797,450	0	16,047,032	0	0	0	3,472,342	3,046,300	29,779,936	0	2,451,840
経常収入計(1)	847,536,319	22,477,533	297,588,578	243,444,138	47,578,570	7,077,200	75,926,645	72,507,738	30,361,697	19,908,010	30,666,210
支出											
人件費支出	533,571,838	312,000	185,390,496	161,958,789	35,453,112	4,874,521	50,311,592	49,414,835	12,556,933	13,559,259	19,740,301
事務費支出	93,154,984	2,640,131	25,726,413	35,951,336	4,463,999	1,295,496	9,024,667	5,870,287	4,072,248	1,644,768	2,465,639
事業費支出	121,457,962	0	50,015,039	40,224,973	6,867,853	566	7,164,425	4,740,219	5,325,046	1,641,446	5,478,395
借入金利息支出	2,988,409	0	0	574,000	0	0	882,000	963,600	0	0	568,809
経理区分間繰入金支出	36,293,500	16,293,500	8,000,000	3,000,000	500,000	500,000	3,000,000	5,000,000	0	0	0
経常支出計(2)	787,466,693	19,245,631	269,131,948	241,709,098	47,284,964	6,670,583	70,382,684	65,988,941	21,954,227	16,845,473	28,253,144
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	60,069,626	3,231,902	28,456,630	1,735,040	293,606	406,617	5,543,961	6,518,797	8,407,470	3,062,537	2,413,066
施設整備等による収支											
収入											
施設整備等補助金収入	11,143,000	0	8,880,000	0	0	0	1,260,000	0	0	0	1,003,000
施設整備等寄附金収入	2,240,000	0	2,240,000	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等収入計(4)	13,383,000	0	11,120,000	0	0	0	1,260,000	0	0	0	1,003,000
支出											
固定資産取得支出	39,295,458	7,087,798	25,596,468	349,500	0	0	2,585,330	1,390,000	280,000	0	2,006,362
元入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等支出計(5)	39,295,458	7,087,798	25,596,468	349,500	0	0	2,585,330	1,390,000	280,000	0	2,006,362
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-25,912,458	-7,087,798	-14,476,468	-349,500	0	0	-1,321,369	-1,390,000	-280,000	0	-1,003,362
財務活動による収支											
収入											
借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金元金償還補助金収入	3,500,000	0	0	1,750,000	0	0	1,750,000	0	0	0	0
積立預金取崩収入	20,286,284	16,224,284	0	0	0	0	0	0	0	0	4,062,000
財務収入計(7)	23,786,284	16,224,284	0	1,750,000	0	0	1,750,000	0	0	0	4,062,000
支出											
借入金元金償還金支出	14,010,000	0	0	4,500,000	0	0	3,500,000	1,650,000	2,000,000	0	2,360,000
投資有価証券取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立預金積立支出	17,172,000	0	5,426,000	0	0	0	2,000,000	2,000,000	5,000,000	2,000,000	746,000
財務支出計(8)	31,182,000	0	5,426,000	4,500,000	0	0	5,500,000	3,650,000	7,000,000	2,000,000	3,106,000
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-7,395,716	16,224,284	-5,426,000	-2,750,000	0	0	-3,750,000	-3,650,000	-7,000,000	-2,000,000	956,000
予備費(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	26,761,452	12,368,388	8,554,162	-1,364,460	293,606	406,617	468,631	1,478,797	1,127,470	1,062,537	2,365,704
前期末支払資金残高(12)	257,852,497	10,127,684	69,755,191	89,237,085	13,112,708	4,909,350	24,978,697	19,094,469	13,817,305	8,201,763	4,618,245
当期末支払資金残高(11)+(12)	284,613,949	22,496,072	78,309,353	87,872,625	13,406,314	5,315,967	25,447,328	20,573,266	14,944,775	9,264,300	6,983,949

『一粒でいいの・・・』

訓練室から外を眺めると、テラスには様々な色や形の季節の花々が咲き誇っている。

夏から、たわわに実っていたプチトマトは、冬に入ってもまだその実をつけていた。グラウンドでの運動の時、少し大回りをすれば直ぐに口に入ったあの甘いプチトマト。種類は、「はて？」聞いたけれど忘れた。無くなった時にはすごく寂しかった。

春になり、グラウンド脇にある花壇に幾段かに分けて住本さんが植えた十数株の植物の苗に、白い花が咲いた。暫らへして実がなりそれが、母だと皆が気づいたのは、白かった実が徐々に赤く色づいてきたからだ。

ついフワフワと母に惹きつけられ、手が伸びたその時に、住本さんが、「数えてあるからね。取り貯めてジャムにするからね。」と言った。

「ああ、一粒でいいから・・・、口にしたい!」「ねえ皆そう思っているでしょ? 僕だけじゃないよね?」

(スリー・マッチョマン)



『ケープの謎』



散髪の時、洗髪するのに使われている一枚の黒いケープに、「?」と首を傾げる様な不可解な事が起きていた。

そのケープが使用されるのは月に一度。散髪の日、女性用のロッカールームに置いてある衣装ケースから出される。用意するのは、いつも職員のはずだった。

ある時、黒いケープはロビーに置いてある物干しに掛かっていた。テーブルの上に丸められているのを目撃された日もあった。またある時には、散髪の日でもないのに、浴室の背もたれにふんわりと掛かっていた。この椅子はシャンプーの時に使っている椅子だった。

「なぜ? だれが? いつ?」職員全員に尋ねたが、皆、「知りませんよ。」と口をそろえた。

知らぬ間に飛んで歩く『黒いケープ』。

謎が謎を呼び、学園内はこの話題で盛り上がった。けれども程なくこのミステリー現象は消えてしまったのだ。ある日、事情で預かった大きな車椅子を、問題のケープが入った衣装ケースの前で保管する事となり、ついでに衣装ケースの向きを変える事にした。その

時から出口を塞がれて、ケープは出歩くのをやめたのだ。ミステリーは、迷宮入りするかと思われた。

ところがである、預かっていた大きな車椅子を返却した途端に、出口を開放された黒いケープが、喜び勇んで飛び回り出したのだ。あまりにも開放感が強かったらしく、喜びすぎて、ケープを操る『小さなトトロ』が、姿を隠す呪文を忘れてとうとう姿を現してしまった。

浴室に椅子を用意して、ケープを用意して、パソニー一枚になり、手を擦り合わせて嬉しそうに待っている小トトロ。

「ヤダー、昭太さんが!」

と、誰かが驚いて叫んでいた。

何事かと集まった職員をよそ、

『あれ?皆でどうしたの?』

と無邪気な顔で振り向く昭太さんであった。

「昭太さん、とにかく裸はまずいでしょ。着替えてください。」担当の山野さんの声が笑いを堪えて小さく震えていた。もちろん、他の職員達もニヤヤしている。

「月に一度の散髪が待ちきれないの? 毎日でも散髪をやりたいの?」と優しい声で山野さんが呟くと、目を輝かせて、人差し指と親指で丸を作った昭太さんでした。

こんな愉快なミステリーにまた出会える事を楽しみにしています。

(石塚)



『遠方からのお客様』

「兵庫県洲本市（淡路島）の五色精光園ですが、施設の見学をさせていただけないでしょうか・・・。」と電話があったのが二月十三日のことでした。

「普通の特別養護老人ホームですけど、本当にいいんですか？」と何度も聞き返しましたが、それでもいいということで、お受けした施設見学でした。

後日、正式な施設見学の依頼文書をいただきましたが、それでも「本当にくるのかしら・・・？」と疑ってしまっほど、自分にとっては遠方からのお話だったのです。

三月十六日、お見えになったのは、山下さんと若林さんの女性お二人。黒のスーツがとてもお似合いました。



お二人の勤める「五色精光園」でも障害を持たれた方の高齢化が問題となっており、最高齢の方は八〇歳だとか。今回の施設見学は、たまたま施設長さんが三芳光陽園のホームページに行き当たり、知的障害のお年寄り認知症のお年寄りが一緒に過ごしている施設ということで遠路はるばる、八時間もかけて見学においでいただくことになったわけです。

法人の沿革から、現在の事業展開に至るまでの話やら、私の愚痴っぽい偏見に満ちた福祉論(?)まで、とても真面目に聞いていただきました。お役に立ったならば良いのですが・・・。

お互いに行き来するというには、ちょっと遠い距離。機会があったら・・・、といってもなかなか機会はなさそうですが、今後何らかのお付き合いは続けていけたらと思います。

「淡路島に施設見学行ってくるから・・・。」そんな日が来るといいな～！

施設長 神谷 亨

『すいません、吸います』



食後の一服にハルさんがやってきた。

施設自体は禁煙のだが、長年の習慣でタバコを吸うことを楽しみにしている方々は、『食後に職員室で』ということの特例となっているのだ。

職員室の扉を開けて入ってくるハルさん。いつも頭をさげながら、

「すいません」と入ってくる。

あまりにも嬉しそうな顔で入ってくるので、自分の中のいたずらの虫が目ざめます。

「あ、今日は吸わないのね?」

「え?」とハルさん。

「吸わないんでしょう?」

「吸いません」って言ったじゃない。

するとハルさん、とびきりの笑顔で、

「いいえ、すいません、すいません、吸います、吸います」といつもの席に腰をおろす。

タバコを渡し、火をつけてあげようとする。

するとハルさん、

「すいません」とたばこを口にくわえ、頭を下げる。

「あ、吸わないのね!」

「ちがう、ちがう、すいません、吸います、吸います・・・。」

たわいもないやりとりだが、この一時が至福の時間に思われる。

今は元気なハルさんも、実は大正五年生まれの九十三歳。席から立ち上がる時に、少しふらつくようになってきた。いつまでタバコが吸えるのか・・・。

こちらの心配をよそに、ハルさんは今日も幸せそうにタバコをふかすのでした。

(職員室管理者)





太陽のしずく

「おはようー!」「おはようございます」

「今日もいい顔してるね。」「うん、元気だよ」

四月から開所した『太陽のしずく』の朝の賑わいが始まる。九時前後にワゴン車が一台、また一台と、玄関前の「車両発着ポート」に滑り込む。

COCO、MOMO、勝手の家、ほのか、のどか、あけぼの荘、六棟のケアホームの住人たちだ。住人たちのうち四名は、湊ひかり学園に通う。後の三十名がこうして太陽のしずくに通ってくる。水筒や箸・スプーン、着替え、薬などを入れた手荷物をしっかり持ち続けることにも、それを各々のロッカーに自らしまうことにも、二カ月かけて慣れた。朝の(利用者)ミーティングの後、皆は各方面に「おしごと」に出かけていく。

四月以降、利用者の生活は一変した。豊岡光生園の移行にともなって、七十余名の人たちがケアホームと光生園に分かれて居住し、日中活動の形も、太陽のしずくと光生園の二事業所で協働で『シヨブチーム』を運営する形をとっている。『シヨブチーム』のコンセプトは、「地域の人たちとの出会いとコミュニケーション」「何事にもチャレンジする」「イレギュラーなこと、トラブルや失敗は宝物、皆で解決しよう」「初めから形を追わない。利用者と職員でクリエイティブしていく」。

毎日が発見と試みと挑戦の連続だ。

自己完結的な生活世界ではなく、思わぬ出会いや出来事に、ときどき、わくわくの毎日なのだ。

「あゆみさんたちが、事務所の郵便物を郵便局に届けたよ」「へー。局員、びっくりにしてなかった?」「これから、顔見知りになるよ、なあ」

「和光保育園で実習している仲間に、加藤さんがお弁当を届けに行ったら、子供たちが寄ってきてね、彼も張り切っている。この頃、足取りがしっかりしてきたなあ」

「皆のお弁当箱を洗って光生園に納品しているんだけどね、洗う人すすぐ人、ふき取る人、洗いをチェックしてやり直しを命じる人、自然に分担して、予想よりとても早く、きちんと仕上げたよ。利用者を見くびっていたよ、と職員たちは意識改革を迫られているよ」「利用者は、この日を待っていたかもしれない」

「政章さんたちが『開拓隊』が、歩いていたら、声をかけられたって。近くでゲートボールをしているお年寄りも気にかけてくれて、今度もっと、お話ができるなあ。」

うん、開拓してるなあ
彼らの

はたらきは、すごい。本当にすごい。意識を変えてるんだもの。

「はたらく」って、
はたの 人を 楽にすることなんだな。



それは、
いっしょうけんめいに 人の こころに こたえようと 動いたり、
身ぶりで お話したり、
ほほ笑んで、やさしい きもちを ひろめたり、
たくさんの 元気を あげることも あるんだな。

そういうことなら、
ほくたちも はじめられるよ!
あ、みんな!

ほくたちの めざすもの

COCO de COCO



近況三話

「やっぱり、神経使ったり、体動かすことが、格段に増えて、疲れてるのよ。お風呂入ると「ククリ」こっくりだもの。葉子さんや志保里さんのこんなに無防備でリラックスした姿、初めて見た。」

「うん、笑顔が多いし、満足顔だよね」

「この前、食卓をしゃなりしゃなり立って行った志保里さん呼び止めたら、途中で引き返してきて、食器を流しまで運んだんだぜ。完全に彼女の判断。感動したよ。おふくろさんに伝えよう。」

「職員は、椎熊さん(男)が来ないの? とか、井上さん(男)と代えてもらおうよ! なんてワイワイやられて、大いに凹んだらしい。でも、調理を皆でやっていたら、吉野さんから、師匠! これどう切りますか? って、師匠にされていたよ。少し持ち上がったな。」

英樹さんのお父さんが亡くなった。お通夜の晩、もう疲れたのか、あけぼの荘の自室で寝ていた英樹さんの元へ管理者がビールと少しのつまみを買って訪れた。「おい、起きろ、供養だ。呑もう。」ビールの大好きな英樹さん、いつもは嬉しくて「うきやっ」って相手を崩すのに、この日は、途中から笑顔が崩れて泣き出した。管理者も驚くと同時に、ほろりとなった。

学園新聞



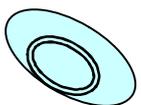
『弟子として奮闘中！』

『おめでと〜ございませ〜す』と言いなながら傘の上で毬を回す芸が有名で、お正月のテレビでは欠かせない存在だった『お染ブラザーズ』を皆様覚えていますか？

実は児童デイサービスを利用しているまぢゃんは、師匠をも唸らせるのでは！と思えるほどの腕の持ち主でお皿、本、座布団等簡単にクルクル上手に回してしまいます。いとも簡単に行う姿に僕もできるのでは？とチャレンジしますが・・・無残（涙）な結果でした。

側で見ていたまぢゃんは『そんな簡単に出来ないよ！』とでも思っているかのように笑っています。思わず僕は頭を下げ勝手に弟子となり、師匠の手本を見ながら日々練習に励んでいますが一向上達しません。

師匠は、技は見て覚える主義のようで、「コツは教えてくれませんが時々「ピピッ」と声を掛けてくれます。何事も努力が大切だ！と教えてくれていると解釈しています。



まだまだ技は身につけていませんが、奮闘努力中の僕の容姿（頭？ 髪？）だけは、本家お染師匠並みです。

いつになるか分かりませんが、『ひかりお染ブラザーズ』として皆様の前に登場できたらと考えています。乞〜期待！



（能重）

「みどりの色の宝物」

とある日の畑作業。

「あっ！じゃが芋の芽が出てるー！」
嬉しそうに笑いながら職員に報告してくれたのはチエさんだ。チエさんの声に触発されて、他の方もじゃが芋を見に行く。



「ちっちゃくてかわいいねー！」
皆も嬉しそうに笑っている。

でもチエさん、作業があまり好きではない。今回の発見も、一足先に草取りを切り上げ、フラフラッと歩いている時に見つけたのだ。

その後も相変わらず、畑をあちこち歩き回るチエさん。今度はサヤエンドウの実がなっていることに気がついた。

「こっちはエンドウ豆が付いているー！」
その声にすかさず職員が声をかける。

「チエさん、その豆収穫してくれる？」
「・・・。」

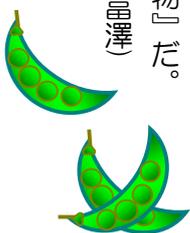


チエさんからは返事が無い。しかし、様子を見ていると、ゆっくりながら作業を始めてくれた。しばらくして様子を見に行ってみると、チエさんの手にはたくさんサヤエンドウが握られている。

「みどりの色の宝物が見つかったよー！」
チエさんはそう言って笑いながら、職員にサヤエンドウを手渡してくれた。

今、ひかり学園の畑には、たくさん野菜が育っている。どれもこれも、みんなで力を合わせて育てた野菜。みんなの努力と笑顔がたくさん詰まった『みどりの色の宝物』だ。

（高澤）



☆編集後記☆

湊ひかり学園は、第三農地の田んぼでお米作りに挑戦！！ スクスクと育ち、秋においしいご飯が食べられますように・・・☆



3事業所の皆で植えたよ！



秋の実りを願いつつ、きらめき十九号をお届けします。
（法人広報委員会）